

# 第1章 調査の経緯

## 第1節 調査に至る経緯

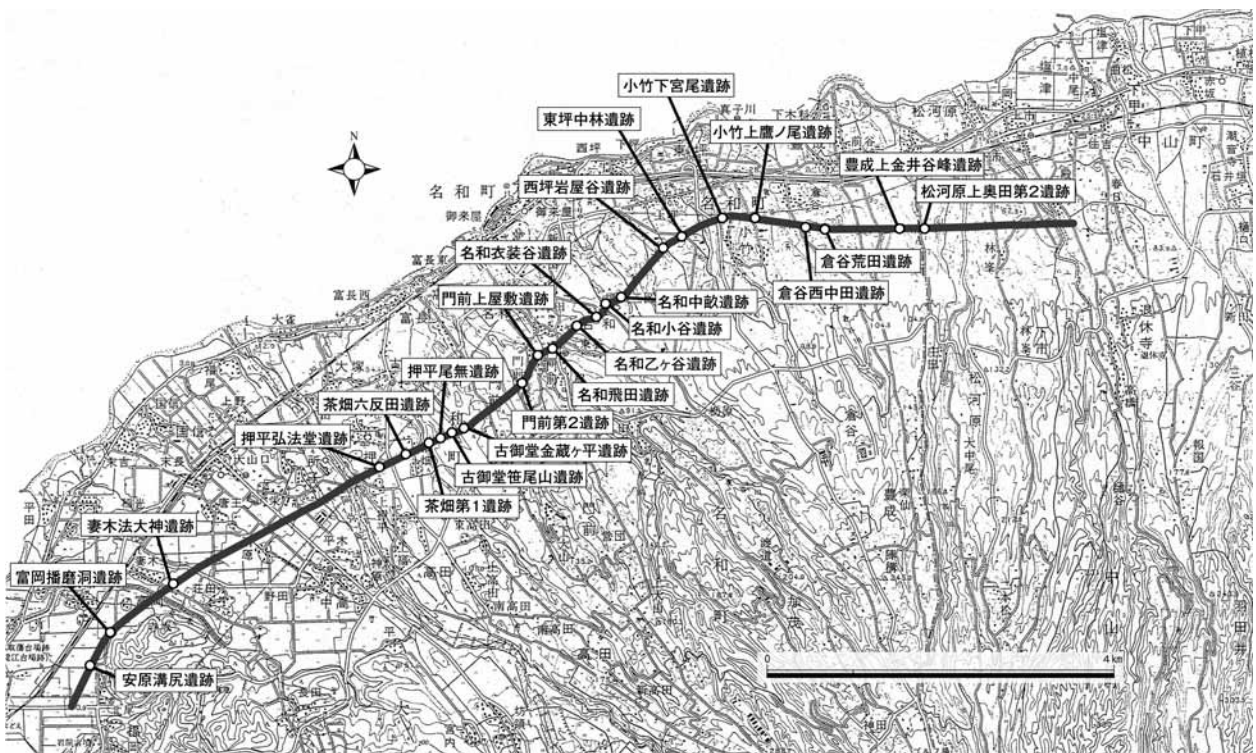
本調査は、平成20年度一般国道9号名和淀江道路の改築に伴い実施した周知の埋蔵文化財包蔵地(以下遺跡)の本発掘調査及び確認調査である。本発掘調査を実施した遺跡は小竹下宮尾遺跡(西伯郡大山町小竹)、西坪岩屋谷遺跡(同町西坪)である。確認調査を実施した遺跡は、西坪岩屋谷遺跡・西坪岩屋谷古墳(同町西坪)、東坪中林遺跡(同町東坪)、小竹上鷹ノ尾遺跡(同町小竹)、倉谷西中田遺跡・倉谷荒田遺跡(同町倉谷)、豊成上金井谷峰遺跡(同町豊成)、同町松河原上奥田第2遺跡(同町松河原)である。

山陰地方では、国道9号線の交通混雑緩和、荒天時の交通障害解消、災害時の緊急輸送の代替道路確保及び将来の国土幹線道路整備として、山陰自動車道の整備事業が進められ、鳥取県西部地域では、米子道路、名和淀江道路が自動車専用道路として一部共用されている。

このうち、大山町を通る名和淀江道路の計画地内及び隣接地には、多数の遺跡があり、建設に先立って計画地内の遺跡の有無・範囲・性格・内容等を確認する必要性が生じた。このため、平成2年度から大山町、名和町各教育委員会(いずれも当時)、平成19年度から大山町教育委員会によって、国庫補助事業として逐次試掘・確認調査が行われた。

その結果を受け、文化財保護法に基づく手続きを踏まえ、平成12年度から平成16年度にかけて、財団法人鳥取県教育文化財団が調査主体となり、安原溝尻遺跡など17箇所の遺跡の本発掘調査、平成17・18年度では鳥取県埋蔵文化財センターが調査主体となり、門前上屋敷遺跡など4箇所の遺跡の本発掘調査を行い、各報告書が刊行された。

平成20年度は、小竹下宮尾遺跡、西坪岩屋谷遺跡が本発掘調査の対象となった。また、西坪岩屋谷



第1図 名和淀江道路関係遺跡位置図

遺跡、西坪岩屋谷古墳、東坪中林遺跡、小竹上鷹ノ尾遺跡、倉谷西中田遺跡、倉谷荒田遺跡、豊成上金井谷峰遺跡、松河原上奥田第2遺跡において確認調査を実施した。

#### 参考文献

名和町教育委員会2000『名和町内遺跡分布調査報告書』名和町埋蔵文化財発掘調査報告書第26集

名和町教育委員会2004『名和町内遺跡発掘調査報告書』名和町文化財調査報告書第33集

大山町教育委員会1990『大山町内遺跡発掘調査報告書 安原所在遺跡・平第2遺跡』大山町埋蔵文化財調査報告書10

## 第2節 調査の方法と経過

### 1 調査区の名称と調査方法

**小竹下宮尾遺跡**は、現況は畑地である。調査に先立ち、世界測地系公共座標第V系に載るように調査区内に10m方眼の基準杭を設定し、グリッドを設けた。グリッド名は、東西南北軸交点の北東杭名を採った。座標は、A3杭(X: -54120m、Y: -73560m)、Q8杭(X: -54170m、Y: -73720m)などとなった。標高値は、三角点Ⅲ小竹の46.280mを使用した。

**西坪岩屋谷遺跡**は、現況は山林である。調査に先立ち、世界測地系公共座標第V系に載るように調査区内に10m方眼の基準杭を設定し、グリッドを設けた。グリッド名は、東西南北軸交点の北東杭の名称を採った。座標は、A3杭(X: -54470m、Y: -74330m)、E5杭(X: -54490m、Y: 74370m)などとなった。標高値は、国土交通省が設置した2級基準点H18-2-7の45.582mを使用した。

**確認調査**は、基本的に2×10mのトレンチを設定し調査を行った。各遺跡とも、国土交通省が設置した基準点等(世界測地系公共座標第V系の座標値及び標高値)を使用して記録をとった。このうち西坪岩屋谷遺跡にはT1～7・20・21、東坪中林遺跡にはT8～19、小竹上鷹ノ尾遺跡にはT1～11、倉谷西中田遺跡にはT1～13、倉谷荒田遺跡にはT14～26、豊成上金井谷峰遺跡にはT1～12、松河原上奥田第2遺跡にはT1～4のトレンチをそれぞれ設定した。

いずれの遺跡の調査も、検出した遺構・遺物の記録には、光波トランシット及び自動レベルを用い、簡易遣り方測量及び光波トランシットによる座標測量を行った。現地での写真撮影は35mm判、ブローニー(6×7)判及び4×5判カメラにより、地上又は写真用足場上から行った。また、調査前状況及び調査後状況写真については、ラジコンヘリコプターからの空中写真撮影(ブローニー判カメラ使用)も併せて行った。遺物写真撮影は、ブローニー(6×7)判及び4×5判カメラを用いた。いずれも白黒ネガフィルム並びにカラーポジフィルムを使用し、適宜デジタルカメラも使用した。

### 2 本発掘調査の経過

**小竹下宮尾遺跡**の調査は、4月9日から調査前地形測量、4月11日に調査前航空写真撮影を実施した。5月26日から30日の期間で重機による表土剥ぎ作業後、6月3日から方眼杭の打設を実施した。6月5日から発掘作業員の稼働を開始し、9月30日まで検出・掘下げ作業を行った。9月6日には、現地説明会を開催したところ、県内外から81名の方々に参加いただいた。その後9月8日に、調査後航空写真撮影及び調査後地形測量を実施するとともに遺構の実測作業を行い、10月8日にすべての発

掘調査に係る作業を終了した。調査の結果、縄文時代の落とし穴6基、弥生時代後期の竪穴住居跡2棟、土坑2基、平安時代の道路状遺構1条、時期不明の掘立柱建物跡5棟、土坑7基、溝10条などを検出した。調査面積は、7,200㎡である。また、10月14日から駐車場及び排土置き場として借地していた土地の復旧作業を行い、10月31日に復旧完了し、借地を終了した。

**西坪岩屋谷遺跡**の調査は、後述する確認調査の結果を受け、本発掘調査を実施することとなった。9月29日に調査前地形側量、10月3日に調査前航空写真撮影、10月6日から8日にかけて重機による表土剥ぎを行った後、10月10日から12月10日の期間発掘作業員を稼動して検出及び掘下げ作業を行った。12月8日に調査後空撮を行い、その後調査後地形測量を行い、12月10日で現地でのすべての作業を終了した。なお、11月29日には現地説明会を開催し13名の方々に参加いただいた(写真1)。調査の結果、縄文時代と考えられる落とし穴3基、古墳1基、時期不明の溝5条を検出した。調査面積は、2,400㎡である。



写真1 西坪岩屋谷遺跡  
現地説明会風景

### 3 確認調査の経過

確認調査は、7月14日から8月21日までの期間、**西坪岩屋谷遺跡**、**東坪中林遺跡**においてトレンチ21本(延べ325.05㎡)を設定し、調査を行った。その結果、西坪岩屋谷遺跡で溝状遺構、落とし穴、土坑、西坪岩屋谷古墳周溝を確認した。東坪中林遺跡では、表土等で近現代の陶器等が出土するのみで、遺構は検出されなかった。

8月18日から10月6日までの期間、**倉谷西中田遺跡**、**倉谷荒田遺跡**においてトレンチ26本(延べ496㎡)を設定し、調査を行った。その結果、倉谷西中田遺跡で中世の溝状遺構、古代の段状遺構、古墳時代から近世の遺物包含層を検出した。倉谷荒田遺跡では、古墳時代前期の竪穴住居跡、段状遺構、溝状遺構、弥生時代から中世の包含層を検出した。

9月16日から10月16日までの期間は、**小竹上鷹ノ尾遺跡**、**豊成上金井谷峰遺跡**において調査を行った。小竹上鷹ノ尾遺跡では計11本(延べ225.6㎡)、豊成上金井谷峰遺跡では計12本(延べ222.9㎡)のトレンチを設定した。その結果、小竹上鷹ノ尾遺跡では落とし穴、ピット、溝状遺構、古墳時代以降の遺物包含層を確認した。豊成上金井谷峰遺跡では、弥生時代終末から古墳時代の段状遺構、時期不明の土坑、溝状遺構、縄文時代の遺物包含層などを検出した。

9月30日から10月3日にかけては、**松河原上奥田第2遺跡**において計4本(延べ85.4㎡)のトレンチを設定し、調査を行った。その結果、縄文時代から古墳時代の遺物包含層を確認した。その後測量作業を10月17日まで行った。

西坪岩屋谷遺跡の本発掘調査終了後、各遺跡の報告書作成を行い、平成21年3月までに原稿を作成し、平成22年1月に報告書を刊行した。



### 第3節 調査体制

下記の体制で発掘調査、報告書作成を行った。

鳥取県埋蔵文化財センター

所 長 久保 穰二郎  
 次 長 田村 隆志(兼総務係長 6月30日異動)  
 総 務 係  
 係 長 梅山 昭美(7月1日異動)  
 副 主 幹 福島 良  
 主 事 浜辺 奈都美

発掘事業室

室 長 山栴 雅美(兼調整係長)

調 整 係

文化財主事 濱 隆造

調査担当(琴浦調査事務所)

副 主 幹 牧本 哲雄(総括責任者)

文化財主事 加藤 裕一(調査担当責任者)、恩田 智則、森本 倫弘、長尾 かおり

#### 調査日誌抄

##### 小竹下宮尾遺跡

4月21日 調査前空撮  
 5月26日 重機による表土剥ぎ作業開始  
 6月3日 方眼測量開始  
 6月5日 発掘作業員オリエンテーション及び人権研修  
 6月6日 検出作業開始  
 6月11日 道路状遺構検出  
 6月24日 道路状遺構検出  
 7月23日 道路状遺構完掘状況写真  
 8月8日 道路状遺構完掘状況写真  
 8月27日 SI 2 検出  
 9月2日 SI 1 完掘状況写真  
 9月6日 現地説明会開催 81名参加  
 9月8日 調査後空撮  
 9月16日 仮説道路付け替え及び現道掘削作業  
 9月18日 現道下検出作業開始  
 9月30日 現道下全景写真掘下げ作業終了  
 10月8日 実測作業終了現地調査終了

##### 西坪岩屋谷遺跡

9月29日 調査前地形測量  
 10月3日 調査前空撮  
 10月6日 重機による表土剥ぎ作業開始  
 10月14日 検出作業開始  
 10月17日 古墳周溝検出状況写真  
 11月5日 古墳周溝焼土検出状況写真  
 11月13日 古墳周溝埋土上層焼土・炭化物検出状況写真  
 11月27日 古墳周溝埋土中層焼土検出状況写真  
 11月29日 現地説明会開催 13名参加  
 12月4日 古墳周溝完掘状況写真  
 12月8日 調査後空撮  
 12月10日 調査後地形測量開始実測作業終了現地調査終了

##### 確認調査

7月14日 西坪岩屋谷遺跡の確認調査開始  
 7月16日 Tr 1 周溝埋土から須恵器高台付皿出土  
 7月22日 東坪中林遺跡の確認調査開始  
 8月18日 倉谷西中田遺跡の確認調査開始  
 8月21日 西坪岩屋谷遺跡・東坪中林遺跡調査終了  
 9月3日 倉谷荒田遺跡の確認調査開始  
 9月16日 小竹上鷹ノ尾遺跡・豊成上金井谷峰遺跡の確認調査開始  
 9月19日 倉谷西中田遺跡の調査終了  
 9月30日 松河原上奥田第2遺跡の確認調査開始  
 10月6日 倉谷荒田遺跡の調査終了  
 10月10日 小竹上鷹ノ尾遺跡の調査終了  
 10月16日 豊成上金井谷峰遺跡の調査終了  
 10月17日 松河原上奥田第2遺跡の調査終了